

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年	2年	類型	ビジネスコース
教科書	現代高等保健体育改訂版(大修館書店)			副教材	現代高等保健体育改訂版ノート(大修館書店)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				①	②	③	④	
1 学期	4	1 思春期と健康	1 思春期の体と健康 2 思春期の心と健康	◎	○			<p>学習のねらい</p> <p>1学期には、思春期における体と心の変化について理解を深めるとともに、性に関する適切な意志決定・行動選択ができるようにする。また、結婚生活をよりよく過ごすためにパートナーとの相互理解の重要性を理解する。そして、計画的に子どもを産み育てる方法と、望まない妊娠・出産が起きた場合の問題点についても理解を深める。また、長寿国日本において、中高年期をよりよく過ごすための工夫や高齢者が抱える健康課題について理解を深める。</p> <p>2学期には、行政や医療機関で展開されている保健・医療サービスを活用する方法を身につける。また、医薬品の種類と使い方について理解し、薬害等の問題についての安全対策について学ぶ。そして、世界規模の保健活動や対策がとられていることを知り、地球規模の環境問題について関わりについて具体的に考えて実践できるようにする。</p> <p>3学期には、環境衛生活動と、食品衛生活動についてそのしくみと具体的な対策について理解し、私たちに求められている具体的な役割について学ぶ。また、働くことの意義や働くことによって起こる健康問題について理解を深め、健康的な職業生活を送るための取り組みや余暇の活用のしかたを知る。</p> <p>学習の目標</p> <p>年齢とともに変化していく私たちの心と体について理解を深めるとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや活用のしかたについて学ぶ。また、健康に関連する環境・食品の問題や、労働と健康の関係などについても学ぶ。</p> <p>評価の観点</p> <p>①関心・意欲・態度</p> <p>個人生活や社会生活における健康・安全について関心を持ち、それらの保持増進に努めるため意欲的に学習に取り組もうとする。</p> <p>②思考・判断</p> <p>個人生活や社会生活における健康・安全に関する諸問題について、その解決を目指して深く考え、自ら判断し、それらを適切に表している。</p> <p>③知識・理解</p> <p>個人生活及び社会生活における健康・安全に関する諸問題について、それらの解決に役立つ基礎的な知識を理解している。</p> <p>備考</p>
		2 性意識と性行動の選択	1 性意識の変化と異性の尊重 2 性にかんする情報と性行動	◎	○			
		3 結婚生活と健康	1 心身の発達と結婚生活 2 結婚生活と家族の健康		○	◎		
	5	4 妊娠・出産と健康	1 受精・妊娠・出産		○	◎		
		2 妊娠・出産期の健康のために			○	◎		
	6	5 族計画と人工妊娠中絶	1 家族計画の意義と避妊法		○	◎		
		2 人工妊娠中絶		◎	○			
	7	6 加齢と健康	1 加齢にともなう心身の変化		○	◎		
		2 中高年期を健やかに過ごすために		○	◎			
			期末考査	○	◎			
	7 高齢者のための社会的取り組み	1 高齢者の健康課題とその支援 2 すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み	○	◎				
2 学期	9	8 保健制度とその活用	1 保健行政の役割	◎	○			
		2 保健サービスや保健情報の活用		◎	○			
		9 医療制度とその活用	1 医療制度と医療保険のしくみ		◎	○		
			2 医療機関と医療サービスの活用		◎	○		
	10	10 医薬品と健康	1 医薬品の種類と使い方 2 医薬品の安全性のための対策	◎	○			
	11	11 様々な保健活動や対策	1健康作りのための活動 2 民間機関の保健活動 3 国際機関の保健活動	◎	○			
		12 大気汚染と健康	1 大気汚染とその原因と健康影響 2 大気にかかわる地球規模の問題	◎	○			
		13 水質汚濁・土壌汚染と健康	1 水質汚濁とその健康影響 2 土壌汚染とその健康影響 3 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり	◎	○			
			期末考査	○	◎			
12	14 健康被害の防止と環境対策	1 環境汚染の防止とその対策 2 産業廃棄物の処理と健康	○	◎				
	15 環境衛生活動のしくみと働き	1 ごみの処理 2 上下水道の整備とし尿の処理と健康	○	◎				
3 学期	1	16 食品衛生活動のしくみと働き	1 食品の安全性 2 行政や製造・加工者による衛生管理	○	◎			
		17 食品と環境の保健と私たち	1 食品の安全と私たちの役割 2 環境の保健と私たちの役割食品の安全と私たちの役割	◎	○			
		18 働くことと健康	1 働くことと健康のかかわり 2 働き方と健康問題の変化	◎	○			
	2	19 労働災害と健康	1 労働災害とその防止 2 安全管理と健康管理の仕組み	◎	○			
		20 健康的な職業生活	1 職場における取り組み 2 日常生活における取り組み	◎	○			
			学年末考査	○	◎			
3		まとめ		○	◎			
				○	◎			

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断 ③：知識・理解

◆学習方法のポイント

【保健の特色】

- 保健は、他の教科よりもある意味で将来よく役に立つ科目です。社会生活を送る上での基本的な知識が身に付きます。
- 保健を学習することで、今後自分たちがどのように生活していかなければならないかを理解し、適切な選択を行い、行動することができるようになることが目標です。
- 2年時では年齢とともに変化していく私たちの心と体について理解を深めるとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや活用のしかた、また、健康に関連する環境・食品の問題や、労働と健康の関係などについても学びます。

【授業】

- 週に1時間の授業があります。
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ①教科書を通して、その単元について理解します。
 - ②課題ノートの問題を解いて、知識の定着を図ります。
 - ③今後自分たちがどのように行動すればよいか考え、判断します。
- しっかり教科書を読んで、理解することが基本です。
- 板書はしっかりノートに取りましょう。

【家庭学習】

- 健康に関する新聞を読んでおくと良いでしょう。

【定期考査】

- 原則として、教科書をしっかり理解しておくことが大切です。
- 授業で学習した知識を利用していかに判断して行動するか、考える力を身に付けておきましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①定期考査の成績 ②授業への取り組みのようす ③実習等での取り組みのようす ④ノート・レポートの提出状況
評価の基準	1 学期 ・評価の観点は、保健への①関心・意欲・態度、②思考・判断、③知識・理解の3項目です。 ・出席状況、授業態度、教科書の読み、発表、ノートの整理状況、課題の提出状況、定期考査をもとに総合的に評価します。
	2 学期 ・評価の観点は、保健への①関心・意欲・態度、②思考・判断、③知識・理解の3項目です。 ・出席状況、授業態度、教科書の読み、発表、ノートの整理状況、課題の提出状況、定期考査をもとに総合的に評価します。
	3 学期 ・評価の観点は、保健への①関心・意欲・態度、②思考・判断、③知識・理解の3項目です。 ・出席状況、授業態度、教科書の読み、発表、ノートの整理状況、課題の提出状況、定期考査をもとに総合的に評価します。
	学年 1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均